

日本大学



工科校友会

日本大学工科校友会

編集委員

1958
VOL. 3 No. 11

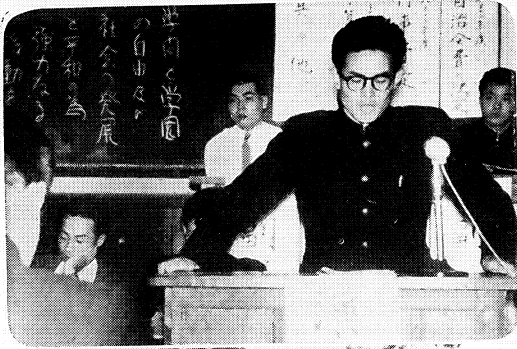
日本大学工科校友会誌

委員長	川崎	撰
委員幹事	亀井幸次	郎
委員	伊藤真治	順
"	大内	順
"	穴沢一郎	郎
"	宮川育郎	夫
"	脇田嘉	夫

目次

校友の交り	川崎撰	3
新卒業生諸君へ	穴沢一郎	4
新卒業生への突飛苦言	宮川育郎	5
新入学の皆様へ	伊藤真治	7
ある O.B. の懺悔話し	亀井幸次郎	8
良き時代の学生たち	大内順	11
校友会役員と学生自治会との懇談会		15
中川防蝕工業を訪ねて		25
トール油	平井長一郎	32
アルミニウムも容易に鍍金できます	高田幸路	33
箱根駅伝		34
消息判明者及来訪者		35
終身会費納入者芳名録		43
会則		44
地方支部便り		46
執筆者の横顔		48

一年の回顧



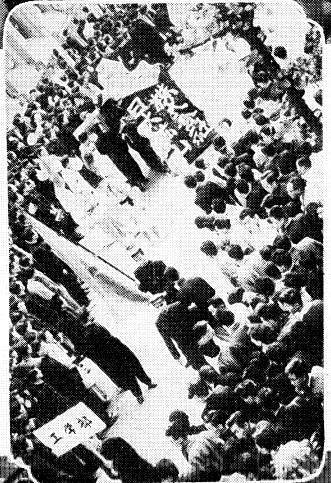
① 学生大会六月十日



② 教授・学生
懇談会
7月5日



③ 土木科・建築科測量実習



④ 前夜祭仮装行列



⑤ 文化団体連合会・世界の顔(1位)



⑥ 三島教養部 茶ッ切り節(2位)



⑦ 電気科 雷のラインダンス(3位)



⑧ 世田谷教養部スタイルアラモード

執筆者の横顔

川崎 撰 工学部建築科卒，昨年工科校友会の副会長に就任され同時に校友会誌桜工の編集委員長として活躍，東京都庁建築局防災技術課で耐火建築の助成其他を担当し極めて御多忙の中を本会の為奉仕される。

亀井幸次郎 工学部建築科卒，工科校友会理事，前回より引続き会誌桜工の編集委員幹事，損害保険料率算定会火災技術部技師。

伊藤真治 高工土木科卒，工科校友会理事，会誌桜工の編集委員，東京都水道局鎌倉町営業所長，写真撮影がお得意。

宮川青郎 工学部電気科卒，工学部電気工学科専任講師，桜工編集委員。

穴沢一郎 工学部工業化学科卒，工学部助教授。

平井長一郎 工学部工業化学科卒，工学部工業化学科助手，松本研究室（油脂）勤務。

大内 順 工学部機械工学科9回（昭和16年），都立機械技術共同実習所副所長，校友会理事，編集委員。

中川雅央 昭和12年工学部卒，日本軽金属KK，日本発送電KKにて電力建設に促す，共栄工事支店長，東北建設部長を経て中川防蝕工業株式会社を創立社長に就任，現在中川防蝕工業株式会社社長，ライフアン工業KK取締役，日本技術士会技術士，学術振興会腐蝕防止委員会委員，埋設鉄管委員会委員，電蝕防止委員会委員，米国N・A・C・Eのメンバー（National Association of Corrosion Engineering）

「櫻工」投稿規定

1. 記事種類 (a) 科学ダイジェスト (b) 研究解説 (c) 外誌摘録，紹介 (d) 技術ニュース (e) 設計施工報告 (f) 随筆紀行文苑 (g) 支部便り (h) 個人消息（転勤，転居，昇任，結婚，留学等）(i) クラス会便り，部会便り (j) 学内便り (k) 其他
2. 原稿枚数 (a)～(e) は 400 字詰 10 枚以内。(f) は 400 字詰 5 枚 (g) 以下は随意
3. 記事写真，図面等は横 14 cm，縦 22 cm を超えない事，写真は鮮明な印画，図は白紙又はトレーシンググペーパーに墨書の手事。
4. (a)～(f) の投稿に対しては薄謝を呈します。

櫻 工 第 11 号

昭和 33 年 3 月 23 日 印刷
昭和 33 年 3 月 25 日 発行

編集人 藤 田 實

発行人 高 木 政 司

東京都北区中十条3ノ23

印刷所 協永堂印刷KK
電話 (91) 2124・7090 番

東京都千代田区神田駿河台1ノ8

発行所 日本大学工科校友会
電話東京(29) 代表 7711-9 番
替振口 座東京 162710 番